



クアラルンプール日本人学校 学校だより

JSKL通信

在マレーシア日本国大使館附属
クアラルンプール日本人会日本人学校
令和元年度 3月号
令和2年3月3日発行

「命二十六の 中に生きたる 桜かな」～中学部卒業証書授与式 式辞より～

神田 哲

2日（月）に中学部卒業証書授与式を行いました。

卒業式はかけがえのない行事です。最大限のコロナウイルス感染への予防対策をしての開催でした。具体的には「参加人数の制限」「適切な環境づくり」「時間短縮」に配慮しました。これは、来週開催します小学部卒業式、幼稚部卒園式もこの方法に準じて実施します。

中学部は26名の卒業生が義務教育9年間を終え卒業しました。17名が国内の学校へ進学します。3名が海外にある私立高校へ進学します。6名がKLのインター校へ進学します。



式辞の中で松尾芭蕉の俳句を紹介しました。

「命二つの 中に生きたる 桜かな」

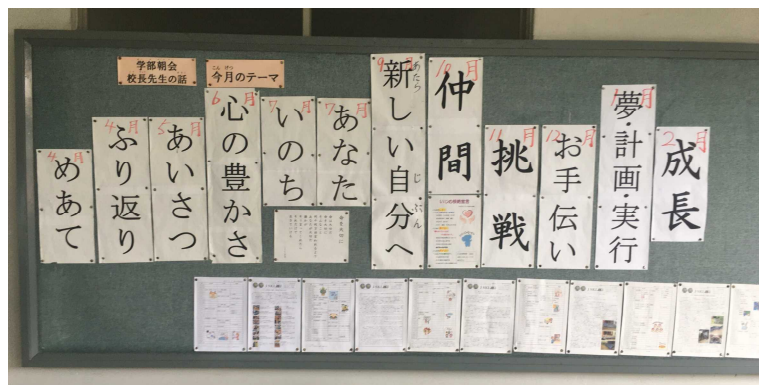
旧友との再会の喜びと満開の桜の美しさを詠んだ句です。この「命二つ」が意味することを生徒へ投げかけました。自らを「命一つ」として、かけがえのない大切な存在として自覚するとともに、隣の友を、そして、自分の周りにおける人や物、すべてのことや事象を「命二つ」として大切にしてほしいことを伝えました。自他の命を思いやり、風光美なる芝の校庭に日本のような満開の桜ではありませんが、マレーシアの風が香る学び舎から友とともに卒業し、一人一人が新たな世界で活躍することを願っています。

時間短縮で式辞では伝えられませんでした。これは自分と他者だけではなく、国際社会でも言えると思います。日本では、国際平和に貢献するグローバル人材の育成が叫ばれています。日本独自の文化を大切にしながら、異文化を理解し、どのような文化背景の人ともコミュニケーションを図っていくことが求められます。JSKLで学ぶ子どもたちは、多様な民族、宗教、文化、習慣が存在するマレーシアで生活しています。子どもたちは、グローバル化の進展や人工知能（AI）の飛躍的な進化など社会の加速度的な変化に対応し、あらゆるにも困難に打ち克ち、厳しい現実を変革しながら、令和の時代を築くために発揮すべき「国際性」という可能性をマレーシアの生活の中で磨いています。JSKLの全ての子どもたちが「命二つ」を大切に、これからのグローバル社会の先頭に立って活躍することを願っています。

卒業おめでとう



毎月行っている学部朝会での校長の話のテーマです。最後の2月は、「成長」というテーマで、学び続けることによって自分の成長を感じるしてほしいという話をしました。JSKLでの学びの中で自身を成長させながら、「国際性」という可能性を磨いてほしいと思います。



11日（水）には小学部卒業証書授与式を行います。

1年間、本校教育活動へのご理解、ご協力、ありがとうございました。

令和2年度も、どうぞよろしく願いいたします。



トラブル時にコミュニケーション支援ボードについて

在マレーシア日本国大使館では、不運にも、盗難事件や交通事故に遭われたり、落とし物をされたりした方が、警察に届け出るに当たって、警察官と容易にコミュニケーションを取ることができるよう、警察への届出に必要な事項を日本語、マレー語、英語の3か国語で記載したコミュニケーション支援ボードを作成しました。このボードを使うことで、届出に必要な事項を指差しながら、警察官とコミュニケーションを図ることができるようになります。

コミュニケーション支援ボードはこちらからダウンロード

https://www.my.emb-japan.go.jp/itpr_ja/25022020B.html

日	曜	全体行事	小学部	中学部
3/1	日	休		
3/2	月		小 休み	中 卒業式
3/3	火	安全点検日		
3/4	水	企画運営委員会（新）	小 学年会	
3/5	木		委員会	
3/6	金			
3/7	土		休	
3/8	日	休		
3/9	月			前期委員長選挙
3/10	火	EC ・ ISここまで		
3/11	水		小 卒業式	中 休み
3/12	木	(学校運営理事会)		
3/13	金		大掃除	
3/14	土	休		
3/15	日	休		
3/16	月	修了式		



今年度をもちまして、幼小中学部15名の教員が帰国します。現地採用3名の教職員が退職します。大変お世話になりました。離任する教職員に代わり、感謝申し上げます。お世話になりました。